

製品名: フィラミン C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87046

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:291 kDa; Observed MW:291 kDa

抗原情報

遺伝子名	Filamin C
別名	ABPA; ABPL; FLN2; MFM5; MPD4; RCM5; CMH26; ABP-280; ABP280A
遺伝子 ID	2318
SwissProt ID	Q14315
免疫原	ヒトフィラミン C の合成ペプチド

背景

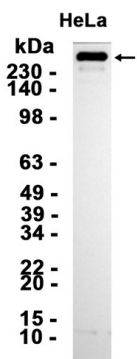
この遺伝子は、3つの関連するフィラミン遺伝子のうちの1つ、具体的にはガンマフィラミンをコードしています。これらのフィラミ

ンタンパク質は、細胞質皮質においてアクチンフィラメントを直交ネットワークに架橋し、アクチン細胞骨格への膜タンパク質の固定に関与しています。フィラミンには、N末端のフィラメント状アクチン結合ドメイン、C末端の自己会合ドメイン、および膜糖タンパク質結合ドメインという3つの機能ドメインが存在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



フィラミン C ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。